

浦出 剛史 (2007 年卒)

留学施設 IHU Strasbourg/IRCAD France

留学期間 2018 年 10 月～2020 年 5 月

リサーチフェローとしてフランスのストラスブールに留学していました。IHU では外科学と新規画像技術やデータサイエンスを統合した研究が盛んに行われており、私は「肝臓外科における新規画像支援技術の開発」をメインテーマに研究していました。また IRCAD は言わずと知れた国際消化器癌研究トレーニング施設ですが、世界各国から訪れる腹腔鏡手術初学者に対する腹腔鏡手術トレーナーをしていました。留学中は、家族とともに行くヨーロッパ各国への旅行も醍醐味の一つです。ヨーロッパの歴史や文化に触れ、世界遺産や美術館巡りを堪能しましたが、一生の思い出として今でもよく回想にふけることがあります。留学は、各国から集まる志高き外科医たちと出会えるチャンスです。一緒に過ごした同僚たちとのパーティや家族ぐるみの付き合いもかけがえのないひとときでした。ヨーロッパへの留学に興味があれば相談してください。



IHU Strasbourg の外観



IRCAD のセンター長 Jacques Marescaux 教授と



多国籍の研究フェローたちと



世界遺産ストラスブール大聖堂にて